

# YMCA NEWS

# 1

■ホームページ  
www.kumamoto-ymca.or.jp  
■ブログ  
kumamoto-ymca.wablog.com  
■メールマガジン登録  
www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi



●発行所/熊本YMCA/〒860-8739熊本市新町1-3-8 TEL.096-353-6397代  
●編集人/神保勝巳 ●発行人/堤 弘雄 2010年1月1日発行(毎月1日発行)  
1984年8月15日第3種郵便物認可 定価60円(送料60円)

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

## 社会に必要なとされる、地域に根ざした活動を



熊本YMCA理事長  
吉本貞一郎

健やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。また、平素はYMCAの諸活動にご協力をいただき心より感謝申し上げます。21世紀も10年目を迎えました。経済的な諸問題とそれに起因する社会情勢の悪化等が懸念されており、新年が皆様にとって希望の年となります。新年がうお祈りいたします。

さて、2009年は日本社会事業大学大学院講師で東京YMCA名誉会員の坂口順治さんによるスタッフ研修等によりプログラムの質の向上を目指しました。6月にはワイズメンズクラブの西日本区大会のサポートを行い、ミュージカルY!の皆さんにYMCAの起源を演じていた



会員スポーツ大会

きました。タイ若竹寮からの留学生も無事に1年の就学を終えられました。また、施設の安全対策の強化と充実を図りました。さらに、例年のように国際協力や青少年の育成を目的とした年末街頭募金活動やYMCAフイランソロピ協会チャリティ駅伝大会等の活動を通して、あたたかい支援の心が地域や世界に届けられました。

そして、2008年度より取り組んできました「地域YMCAの深化3カ年計画(地域深化3カ年運動)」も3月をもちまして区切りとなり、熊本YMCAは、皆様のYMCAとして今後も地域に根ざした活動を展開して参ります。ご協力いただきありがとうございます。今後の変わらぬご協力をお願いいたします。

YMCAは会員運動をその特徴としており、営利を目的とした組織ではありません。だからこそ70年代の財政的な逼迫、80年代以降の活動の充実、それぞれに会員の皆様の絶大なるご支援をいただき克服、発展してきました。現在、熊本YMCAの法律上の一つの組織である財団法人が、新法による公益財団への改組を目指して設立要件への対応を準備しています。もちろん熊本YMCAが行っているすべての事業や活動は公益に資するものであり、「熊本YMCAの使命」を実現するために行われています。青少年をはじめ、すべての人々が心豊かな生活を送ることができるようにと祈る団体なのです。そして、この活動を支えていただ



ワイズメンズクラブ西日本区大会(ミュージカルY!)

ているのはボランティアの皆様であり、プログラムに参加いただいております。YMCAは地域に不可欠な公益のための存在か——今回の法律改定は、私たち熊本YMCAにとりまして、今一度、自らのアイデンティティーを確認する機会だと考えています。熊本の地で60余年に渡り活動を続けてこられた諸先輩の努力によって、地域に根ざし、熊本の文化の一端を担うことができているのではないかと私は自負しております。この文化を次の世代に伝えるだけではなく、私たちがによってより素晴らしいものとして、21世紀の社会に活かしていく責務を覚えるよい機会だと捉えています。

地域深化3カ年運動の聖句は、「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくられたことなのである。」(マタイによる福音書第25章40節)です。厳しい経済状況が続く中、このような時にこそ、人々の心のあたたかさや互いに支え合う気持ちが求められているのだと思います。熊本YMCAに連な

るすべての人々は、各々のプログラムに参加しているだけではなく、YMCAが目指す社会への運動を担っていただいているのです。ウエルネス、スポーツスクール、専門学校、幼稚園・保育園など、すべての熊本YMCAのプログラムは、その時代のよりよき世界への変革という責務を担って参りました。60年前、熊本に時かれたYMCAの小さな種は、ある会社の事務所の片隅に置かれた机から広がっていきましました。そして、少なからず熊本の社会に影響を与えるまでになったのです。

また、今年には熊本でワイズメンズクラブの活動が始まって60年となります。YMCAをサポートする奉仕団体として、社会でのリーダーシップを涵養するワイズメンズクラブは、現在9クラブの200名強のメンバーが活動に取り組みられています。ワイズメンズクラブの諸活動はYMCAの活動に厚みを増し、より力強く推進することにつながると今後も期待しております。その中で開発されたリーダーシップは常にYMCAを支える大きな力となって参りました。60年にわたる活動に感謝とお祝いを申し上げます。

最後に、2010年3月に総主事は任期満了を迎えますが、理事会は常議員会の意見もふまえ、堤弘雄総主事の再任を決定いたしました。私たち、すべての会員に課せられた課題の解決と「熊本YMCAの使命」の実現へ向け、堤総主事と共に進んでいきたいと思います。

皆様に神様の豊かなお恵みがありますようにお祈りし、ご挨拶いたします。

### わたしと聖句

マタイによる福音書第25章23節

『忠実な良い僕だ。よくやった。お前は少しのものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ。』

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

川尻キリスト教会

高口喜美男

### 委ねられた「時」

この聖句は、人がそれぞれの人生を終える時、神の前に立つという厳粛な場面をたとえて語られている箇所です。聖書を手にとって、その前後をお読みください。この中で、それぞれに主人から委ねられたお金を僕たちが如何に忠実に用いたかが問われています。その評価は絶対額に対してではなく、「委ねられたものにふさわしい働き」に対するものでした。

この話は、しばしば「能力に依じて」と解釈されています。しかし、私は、神から委ねられている一番大切なものは「時」ではないかと思えます。世の中のニュースにも、私の周辺にも若き日に、また、志半ばにして世の旅程を終えられた方々が多くおられます。しかし、私は今も生かされています。これは、神から委ねられています。神と人との大切な財産です。神と人との喜ばれるように用いなければならぬ宝です。新年を迎えて、賀を寿ぐとともに「神様から委ねられた時」を踏み出しているかどうかではありませんか。